

1. 国土を測る

令和元年6月6日 国土地理院北陸地方測量部
第5回 常願寺川、神通川、庄川及び小矢部川等
大規模氾濫に関する減災対策協議会

我が国の位置の基準を管理します



原点数値を測量法施行令で規定

経度・緯度



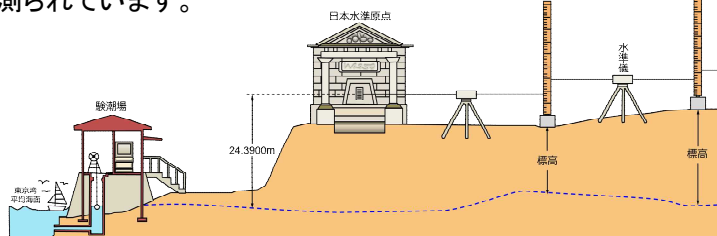
日本経緯度原点(東京都港区)

高さ



日本水準原点(東京都千代田区)

土地の高さ(標高)は、東京湾の平均海面を基準(標高0m)として測られています。



水準測量の作業イメージ

様々な形で電子基準点データを活用します



2. 国土を描く

全ての地図の基礎となる「電子国土基本図」を整備します

空中写真



公共測量成果(大縮尺地図等)



登山経路情報



空中写真等各種情報を効率的に活用し、我が国の国土を表す際の地図の基礎となる電子国土基本図を着実に整備します。



電子国土基本図

インターネットで最新地図を提供します（地理院地図）

地理院地図は、地形図や写真、地形分類、災害情報など2,000以上の情報をパソコンやスマートフォンなどから無料で利用できるウェブ地図です。

利用者



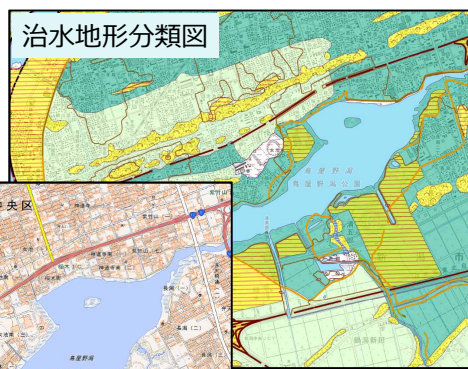
インターネット



写真



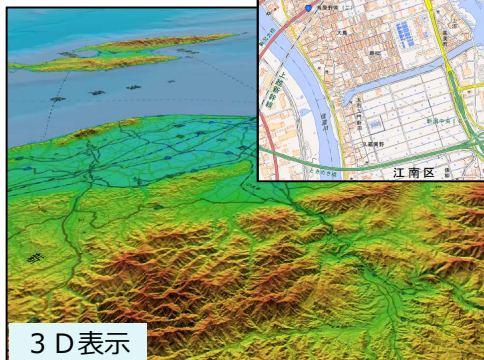
治水地形分類図



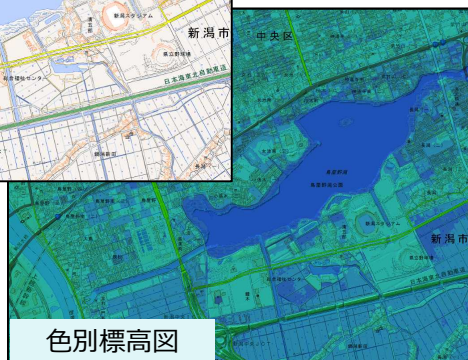
地形図



3D表示



色別標高図



3. 国土を守る

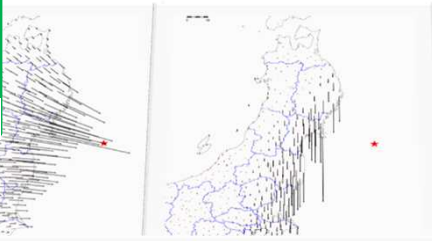
災害時には迅速な情報把握・提供を行います

災害対策基本法に基づく**指定行政機関**及び**指定地方行政機関**として、測量・地図分野の最新技術を活用し、**災害状況の把握**、**地殻変動の監視**を行い、関係機関に**情報を提供**します。

災害時等に国土地理院が提供する地理空間情報



電子基準点



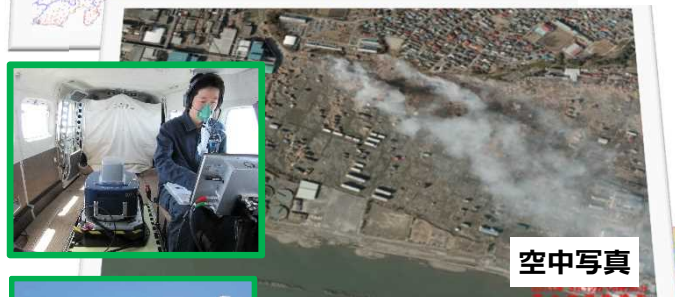
①電子基準点

常時、24時間連続観測、地殻変動を監視



②空中写真

災害時は**緊急撮影を実施**



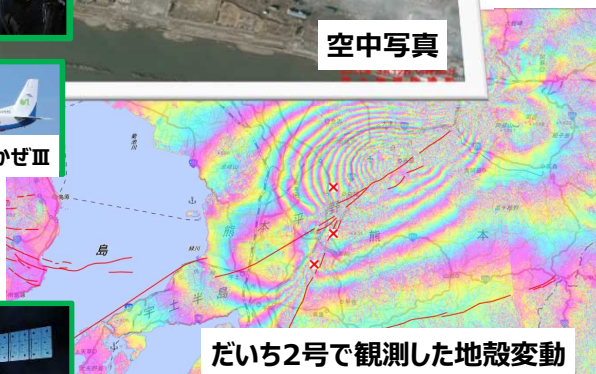
空中写真

③衛星による観測

だいち2号による面的な地殻変動の把握



くにかぜⅢ



だいち2号で観測した地殻変動

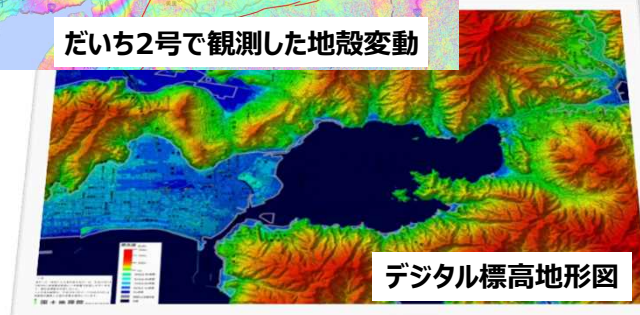
④標高データ

10m DEM: **国土全域の公開中**

5m DEM: **国土の約70%を公開中**

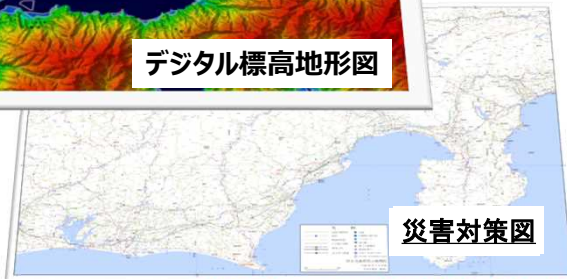


だいち2号



デジタル標高地形図

⑤災害対策図



災害対策図

⑥写真判読図



写真判読図

このほか

○電子基準点、三角点及び水準点の

測量成果を迅速に改定し公表

○必要に応じて、浸水範囲概況図等の

地理空間情報を早急に整備し、公表

「提供：宇宙航空研究開発機構（JAXA）」

4. 国土を伝える

防災・減災の「備え」に役立つ「防災地理情報」を提供します

防災地理情報

災害履歴情報

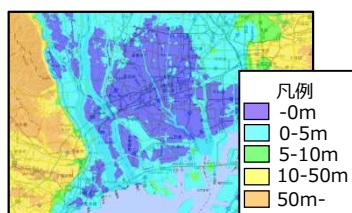


自然災害伝承碑
(広島県坂町小屋浦地区)

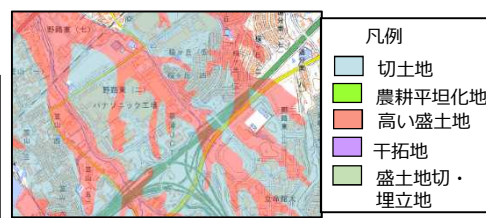
地形特性情報



明治期の低湿地



標高(0m地帯)

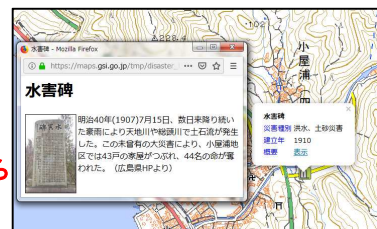


地形分類

【Web『地理院地図』での表示イメージ】



令和元年6月から
順次提供予定



【2万5千分1地形図での表示イメージ】



令和元年9月から
順次掲載予定



『地理院地図』で正確な日本の姿を伝えます

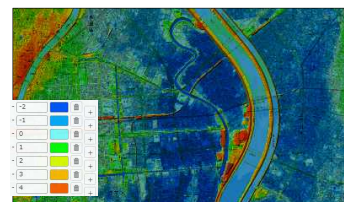


災害時の初動



被災前後の比較
(北海道胆振東部地震)

災害への備え



地理教育や防災教育を支援します

水害

評価・分析



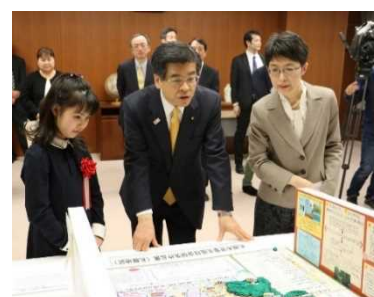
地形分類(自然地形)

教材化

適切な避難行動
～災害から逃げる～



「防災地理情報」の有効性の評価と教材化



地理教育に関連する優良事例の普及

防災に役立つ「地理院地図」の例

機能 1 : 自分で作る色別標高図

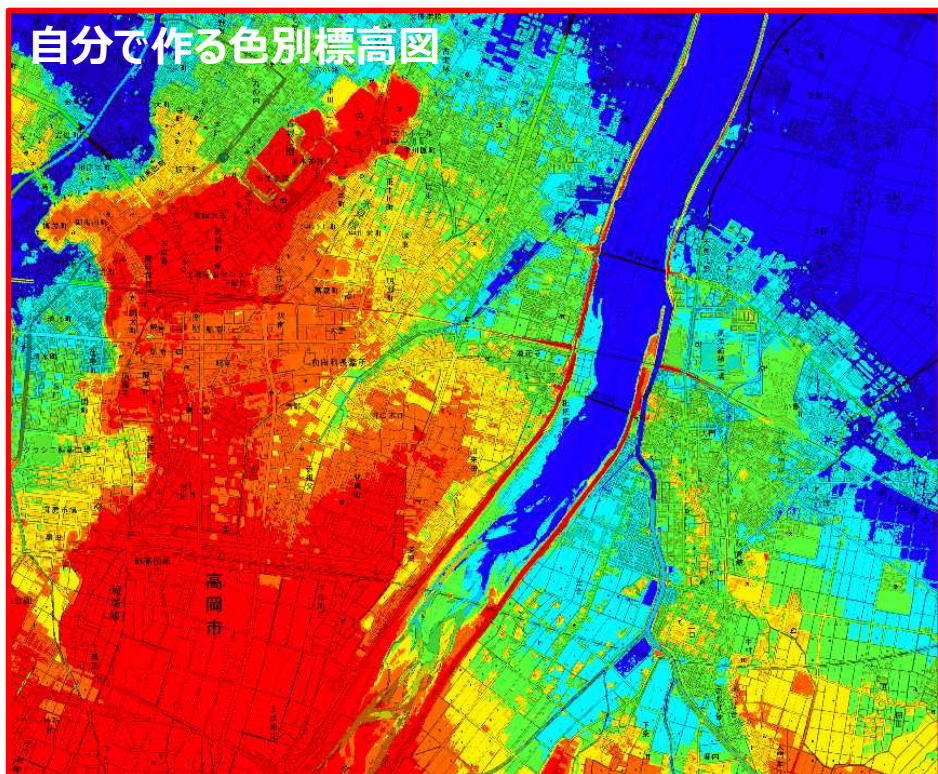
→ 浸水の危険性を把握

小さな高低差もわかる地図を作ることができ、
浸水危険性の把握に活用できます。

従来の色別標高図



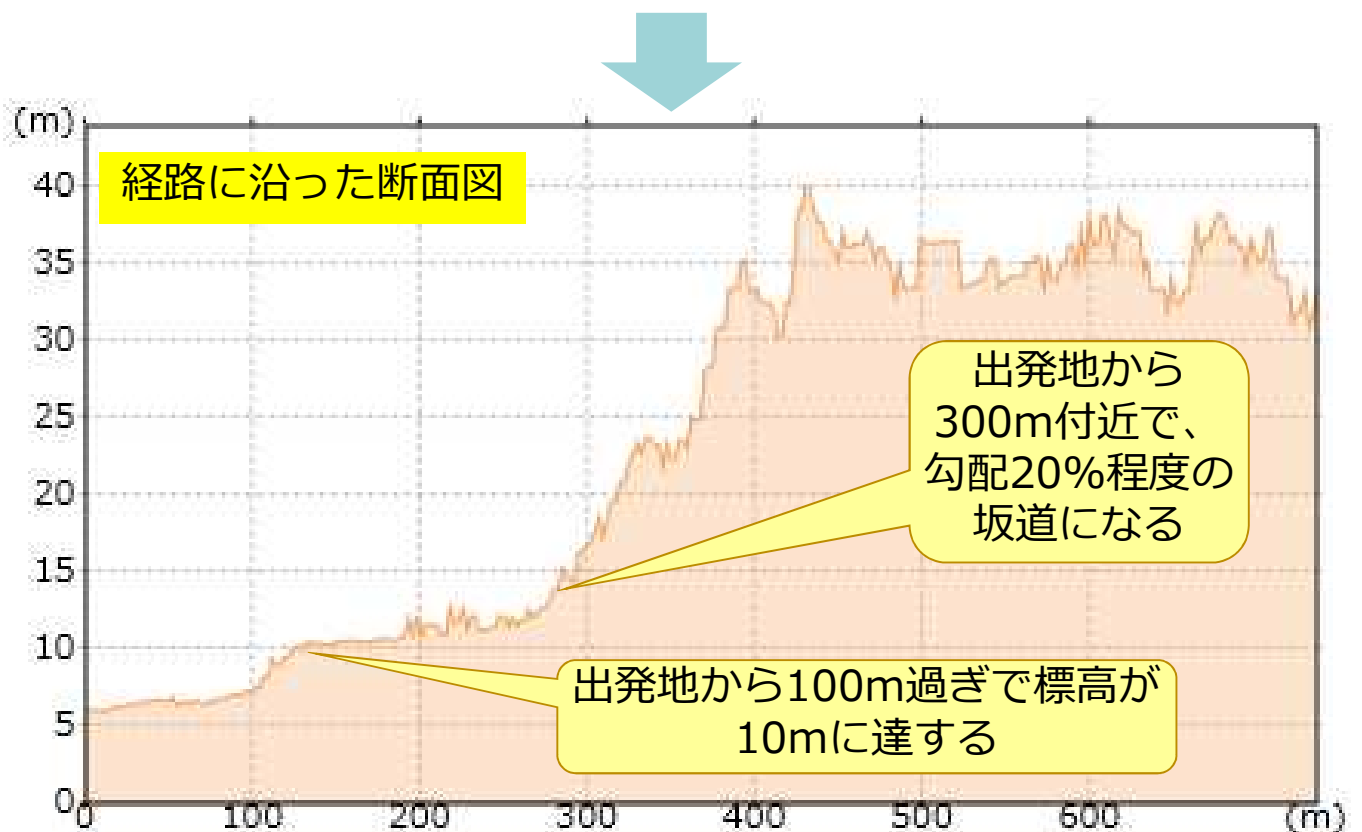
自分で作る色別標高図



防災に役立つ「地理院地図」の例

機能 2 : 断面図作成 → 避難経路を確認

避難経路の高低差を調べることができ、
経路として妥当かどうか確認することができます。



あなたの街の

自然災害伝承碑 を 地図へ載せてみませんか？



自然災害伝承碑
(水害碑：広島県坂町)

「自然災害伝承碑」とは

- ◆過去に発生した津波、洪水、火山災害、土砂災害等の自然災害に係る事柄（災害の様相や被害の状況など）が記載されている石碑やモニュメントです。
- ◆自然災害伝承碑は、当時の被災状況を伝えると同時に、被災場所に建てられていることが多く、それらを地図を通じて伝え、地域住民による防災意識の向上に役立つものと期待されます。

西日本豪雨災害から学ぶ教訓

2018年（平成30年）7月に発生した西日本豪雨では、多くの箇所で土砂災害が発生し、甚大な被害が生じました。

広島県坂町（さかちょう）小屋浦（こやうら）地区でも大規模な土砂災害が発生しましたが、その場所には、今から約110年前に、土砂災害があった旨の石碑が設置されていました。

しかし、住民の間には十分知られておらず、危険性も認識されていませんでした。この結果として、災害発生に避難勧告は発せられたものの、この地区の住民の避難率は、町の平均避難率を大きく下回っていたことが、その後の調査でわかっています。



自然災害伝承碑の前で行われた
救助活動（大阪府警察提供）

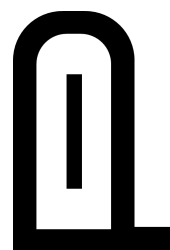
災害から多くの住民の皆さまを守りたい、そのために・・・



自然災害伝承碑
(水害碑：広島県坂町)



国土地理院では、新たな
地図記号「自然災害伝承碑」
を作りました。



かつて自然災害が発生した地域であることを、
誰もが知ることができるようになります。

自然災害伝承碑は、市町村の皆さまからの申請により
掲載されます。 掲載を希望される市町村の皆さまは、ぜひお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

国土交通省 国土地理院 北陸地方測量部

☎ 076-441-0888

gsi-hokuriku-bukai@nyb.mlit.go.jp



国土地理院

Geospatial Information Authority of Japan

URL: <http://www.gsi.go.jp/>

市町村のみならずからいただいた申請を元に、国土地理院では本年6月以降順次、全国各地に建立されている自然災害伝承碑に関する情報（位置や伝承内容など）公表する予定です。

地理院地図（ウェブ地図）
における表示イメージ

2019年6月から
順次提供予定

2万5千分1地形図（紙地図）
における表示イメージ

2019年9月から
順次提供予定



災害予防の観点から自然災害伝承碑に関する取組を進めることは、最新の防災基本計画（平成30年6月中央防災会議）においても示されています。

第2編第1章第3節国民の防災活動の促進

4 災害教訓の伝承

○ 国及び地方公共団体は、過去に起こった大災害の教訓や災害文化を確実に後世に伝えていくため、（略）**各種資料をアーカイブとして広く収集・整理し（略）広く一般の人々が閲覧できるよう公開に努めるものとする。**また、**災害に関する石碑やモニュメント等の持つ意味を正しく後世に伝えていくよう努めるものとする。**

※国土地理院は、災害対策基本法における指定行政機関です。また、国土地理院北陸地方測量部は指定地方行政機関です。

活用イメージ

学校における 学習教材



身近な災害履歴を学ぶための学習教材として、小中学校で活用いただく。

地理教育や防災教育
への貢献

地域探訪の 目標物



歩こう会などの探訪コースを設定する際の目標物とすることで、参加者が地域を歩きながら自然と過去の災害情報に触れる機会を創出する。

防災に対する関心を
高めるきっかけ

防災地図の素材



自然災害伝承碑の情報などを素材とした防災地図を、児童生徒が現地調査を交えながら作成する。

児童生徒やそのまわりの
大人の防災意識向上

【お問い合わせ先】

国土交通省 国土地理院 北陸地方測量部

☎ 076-441-0888

gsi-hokuriku-bukai@nyb.mlit.go.jp